

令和5年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和5年5月15日（月）午後6時30分～午後7時50分

開催場所：笠間市役所 本所 2階 2-6 会議室

出席者：10名

《説明後の意見交換》

- 1 旧畜産試験場跡地及び周辺の管理について
- 2 脱炭素先行地域への申請について
- 3 市街地活性化について
- 4 旧小薬邸について
- 5 学校運営協議会・部活動地域移行について
- 6 自転車の右側走行について

1 旧畜産試験場跡地及び周辺の管理について

【意見等】

旧畜産試験場跡地の雑草がひどく、花粉が近隣住宅まで来てしまう。また、敷地内の古い看板も放置されているようである。管理体制はどうなっているのか。

また、若狭山団地に隣接している部分は、団地から県へ除草を依頼しないと除草してくれない。その都度依頼しなければならないのか。

さらに、跡地の利活用は今後どうなるのか。

【回答】

旧畜産試験場跡地は県の土地であり、県が管理をしている。除草は年に1～2回行っていると認識している。土地が広いので除草費用もかかることから、道路に面している部分のみを除草し、跡地内は除草していないので理解してほしい。古い看板があることは認識しているが、土地の価値を下げるものではない。ただ、古いものは無い方が見栄えが良いことは確かなので、県へ撤去を依頼する。

若狭山団地隣接の部分については、県が事前に除草する月を決めることで、団地の方々も安心できると思うので、県に話をする。

跡地の利活用については、県が「本社機能を有する企業」に絞って誘致活動を行っている。モノタロウが物流拠点の2か所目を跡地に建設したいという希望があったが、「本社機能を有する」の部分で一致せず、茨城町の中央工業団地へ行ってしまった。

2 脱炭素先行地域への申請について

【意見等】

脱炭素先行地域への申請結果はどうなったのか。15-1区（ギャラリーロード商店会周辺）で意見を出したが、どうだったか。弱かったのか。

【回答】

脱炭素先行地域の選定結果は落選であった。結果は区長へ連絡した。落選理由は、設定エリアや住民の理解、民間との協力体制不足などであると推測される。市の努力不足である。エリアをギャラリーロ

ード周辺に設定していたが、コンパクトすぎたかもしれない。住民の理解については、陶芸家の方へアンケートを行ったが、17%くらいしか返答がなかった。15-1区からの意見は、選定結果を考えると弱かったと言わざるを得ない。

次回の4回目募集が本年8月にあるため、再度挑戦する。

3 市街地活性化について

【意見等】

市街地活性化については、今までは門前通りを中心に行ってきたように思う。これから他の地域でも門前通りと同じように力を入れてもらえるのか。

【回答】

門前通り以外にも、もちろん力を入れていく。例えば令和5年度予算の「笠間SC周辺リノベーション推進事業」は、赤坂地区（ポレポレ周辺）の利活用を想定したもので、大池公園付近の桜並木がある場所を、桜以外にも例えばカフェや川床を作るなどして、魅力を高めていきたいと考えている。ポレポレも含めて話し合いを進めている。

4 旧小薬邸について

【意見等】

笠間芸術の森公園付近にある「旧小薬邸」が、ゲストハウスとしてオープンすると聞いている。市もぜひ協力してほしい。

【回答】

市ができることは協力していく。企画政策課が所有者の方とコンタクトをとっている。何かあれば企画政策課まで連絡してほしい。

5 学校運営協議会・部活動地域移行について

【意見等】

学校運営協議会に求めることや、学校運営について思うことはあるか。また、部活動地域移行についてどう考えているか。

【回答】

学校で一番大切なことは、やはり「教育」である。先生が授業でしっかりと教えることが大事で、のびのびと教えられる環境を作ることが必要と考える。現在は、授業以外の部分の先生の負担が大きいですが、例えば行事後の礼状など業務を一つひとつ見直し、廃止するものは廃止していくことが大切と考える。また、学校運営協議会の皆さんを含めた保護者の方々には、除草のボランティアを含む環境整備や学校行事の支援などを継続していただき、学校運営をサポートしていただきたいと思う。

市では「民間連携等学力向上事業」を進めている。外部の方の協力を得ながらより良い教え方を行うもので、全国的にも珍しい取り組みである。このような取り組みを積極的に進めていきたい。

部活動地域移行については、市内では現在3つの中学校で試験的に行っている（笠間中学校／バレー部、友部中学校／相撲部、岩間中学校／剣道部）。令和6年度から地域移行する学校を増やす予定であ

る。子どもたちの数が減っているため、今後団体競技は、学校内で人数が足りない場合が出てくることも予想されるが、複数学校での合同チーム結成も進めていくと良いと思う。本年4月に開催された「飛田穂洲旗第36回中学校野球大会」では、岩間中学校・稲田中学校の合同チームが準優勝に輝いた。合同チームの良い例であり、これからこのような形が増えていくと思う。

6 自転車の右側走行について

【意見等】

自転車の右側走行が多く危険を感じている。どうやら中学校で、歩道が道路の右側にしかない場合に、先生が生徒へ右側走行を指導しているようである。卒業した後も右側走行が正しいと感じてしまうのではないかと不安である。

【回答】

交通事故防止のために、自転車を正しく乗ることは大事なことである。自転車のルールについては、意識が変わってきていると感じる。例えば、本年4月からヘルメット着用が努力義務化されており、数年後には義務化されるのではと思っている。また、市では以前（平成31年）に「笠間市自転車の安全利用に関する条例」を定めており、自転車事故など万が一の場合に備えて保険に入るよう推奨している。

歩道については、両側にない場所もある。歩道整備を進めているが、対象の場所が多くあり、通学路を優先して整備を進めている状況である。

※補足：

自転車の利用にあたっては、車道の左側を通行することを指導していますが、車道または交通状況に照らし通行の安全を確保するため、歩道を通行することがやむを得ないと認められるときには、歩道を通行することができることとなっています。なお安全確保の観点から、道路の左側に歩道がなく、右側に歩道が整備されている際には、歩行者優先で歩道を利用する場合があります。今後も交通安全教育の充実や交通ルール等について周知していきます。